



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル4F (3971) 4144

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/>

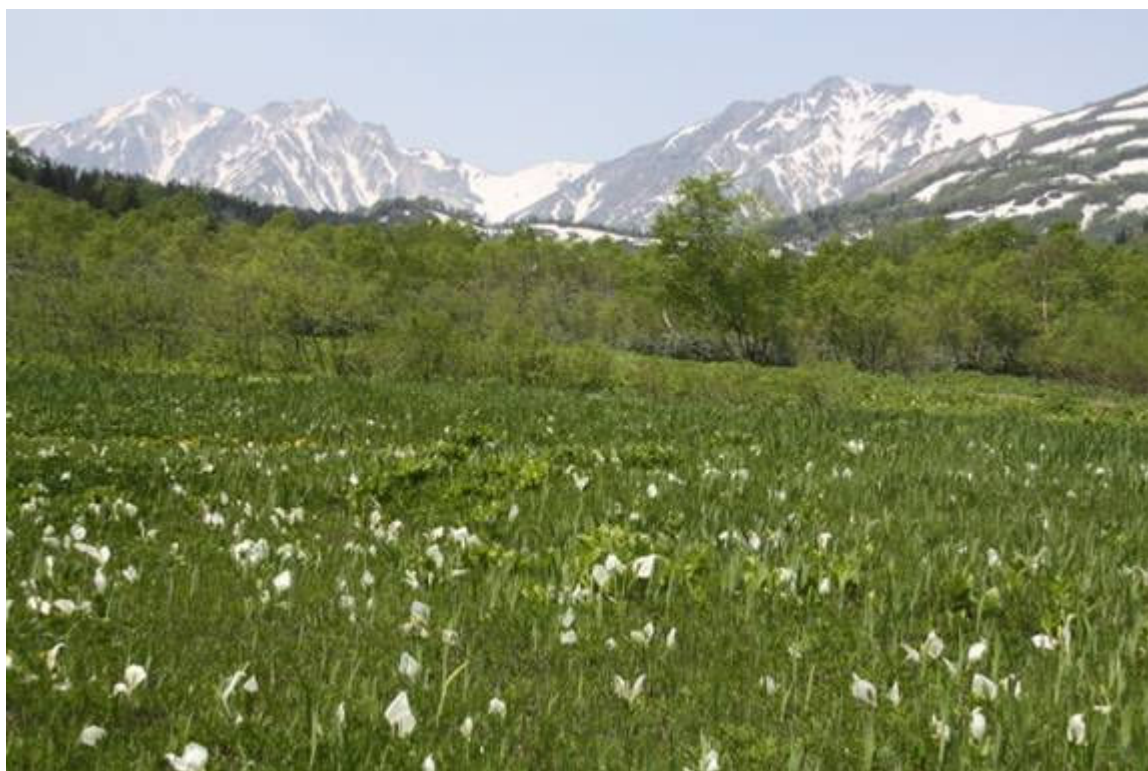
No.321

発行

2010.8.1

発行責任者・小川 洋

暑中お見舞い申し上げます



目次

クリーンハイク報告	2 頁
立山スキー教室報告	3～4 頁
第2回理事会報告	5 頁
8月・9月のカレンダー	6 頁
* 第43回総会の内容は次号に掲載します。	

クリーンハイクに12名が参加

杉並労山の仲間と一緒にゴミ9kgを回収

労山第37回クリーンハイクが6月6日（日）全国一斉に行われました。東京スキー協は山スキーの仲間を中心に12名が、杉並労山の人々と一緒に奥多摩・日向和田山駅～三室山～日ノ出山～御岳山のコースを、ゴミを求めて歩きました。緑がみずみずしい6月の山路は涼しい風が吹き、ホトトギスやウグイスの声も聞かれ、気持ちよく歩けました。

登山道の周辺にゴミはほとんど見られないものの、30度超の急斜面の林間には、空き缶やガラス瓶など、投げ捨てられたゴミが見かけられました。勇気ある人は木の枝などにつかまりながら、急斜面を降りて回収していました。雪があれば滑って拾ってくるのになどという人もいましたが…。

見晴らしの良い日ノ出山で昼食休憩、記念撮影の後、御岳山に向けて歩きます。山頂付近の宿坊の庭には、白いシャガや紅色の九輪草の花が平

地より一月遅れで咲いていました。私たちはゴミを持ってケーブルで下山、元気な三浦、矢口さんは歩いて下りました。ケーブル下の駐車場でゴミの分別と計量がおこなわれました。普通ゴミ3kg、ビン3kg、空き缶2kg、プラ・ビニール1kg、合計9kgでした。御岳駅前の多摩川の清流を肴に冷たいビールを飲み、有志で慰労会をたのしみました。

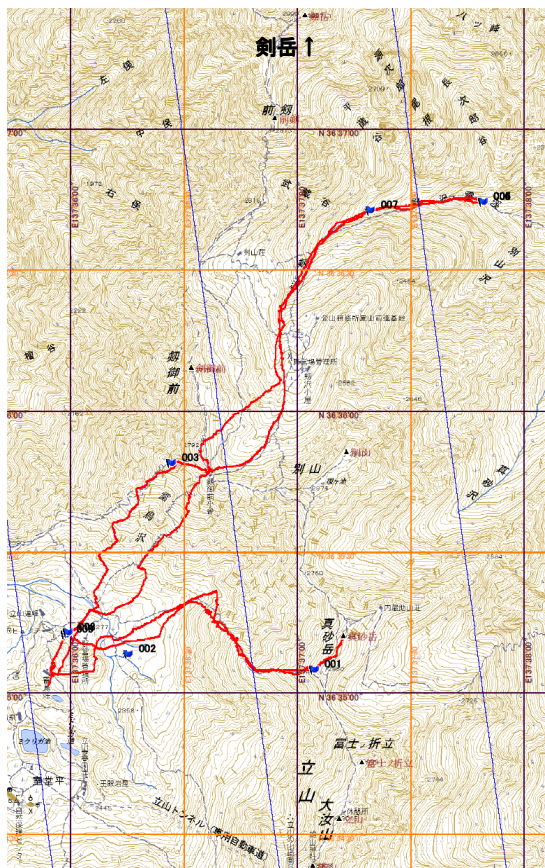
参加者氏名 菅野敏雄、杉村雄一、関谷正義、高橋豊明・京子、田畑健（こなゆき）、小松はる子、矢口政武（ランドネ）、伊藤元広（コロポックル）、三浦幸光（ウィークデー）、吉田安信（スノーモンスター）堂山正行（前橋スベロークラブ）の12名でした。

（期・田畑 健）



“剣岳”に抱かれ、 滑る、滑る、滑る

初日、午前10時、室堂に集合。宿へ。
雷鳥荘で早い昼食、天気はいい。立山三山もよく見えている。
大走り尾根へ向かう、例年より雪が多く残っているようである。雄山から真砂岳への稜線直下(2800m)で雪が切れ、板をデポし、稜線へ。真砂岳山頂まであとわずかである。



山頂へ着くと、内蔵助谷、真砂沢の上部、アルプスがよく見える。記念写真の後、デポ地へ戻り滑降準備。右へ折れ

るところまで、一気に滑り降りる。

登ってきた斜面を滑り、途中で左に入る。

21日(晴) 大走尾根

- 11:15 雷鳥荘前出発①
- 11:30 称名川横断／シール装着②
- 11:40 大走尾根へ
- 13:50 頂上直下、板デポ③
- 14:20 真砂岳山頂着④
- 14:30 頂上直下へ戻る
- 14:45 大走尾根滑降開始
- 15:00 称名川横断
- 15:20 雷鳥荘直下ロープトウ乗場
- 15:30 帰着(雷鳥荘前)①

22日(晴) 雷鳥沢・剣沢

- 07:25 雷鳥荘前出発①
- 07:35 称名川横断／シール装着⑤
- 07:45 出発
- 10:00 剣御前小屋前着⑥
- 10:20 剣御前小屋前発
- 10:40 剣沢へ、滑降開始⑦
- 11:15 長次郎谷出合着⑧
(休憩・食事)
- 11:40 長次郎谷出合出発
- 14:50 剣御前小屋前着⑥
- 15:15 剣御前小屋下、滑降へ
- 15:40 称名川横断
- 15:50 雷鳥荘直下ロープトウ乗場
- 16:20 帰着(雷鳥荘前)①



まっすぐ雷鳥平テント場に向かって滑り込む。あとは称名川を渡って雷鳥荘下まで。宿に帰り明日への準備となった。

2 日目、雷鳥沢左（室堂乗越方向）を登り剣沢を滑降し、長次郎谷の出合を目標の予定。帰りは剣沢を登り返し、雷鳥沢を下ることとなる。

朝、早めに出発し、まずは剣御前小屋をめざす。剣御前小屋へ10時に着く。ここから滑降することもできるが剣御前にむかってさらに登り剣沢へ滑り込むこととする。滑降開始地点⑦から、研修所へは25度前後の素晴らしい斜面が続く。左に剣岳を配し、剣沢に滑り込む。さらに剣岳を正面上に見ながら、滑る、滑る、滑る…。

滑り込むにつれ、左右は大きな壁のようになり、広い回廊を滑る感じである。だんだんと雪は重くなり、若干、洗濯板のようになってきたが、長次郎谷の出合へあっという間に着いてしまった。しかし、ここから約3キロの登り返しである。楽あれば、苦あり？

雪もよくのんびり登り返せば午前に着いた剣御前小屋へ。一服し、剣御前小屋下から雷鳥沢左の尾根に入り、剣沢を登ってきた体には堪えるが、滑降を楽しんで、雷鳥



荘に帰着。

3 日目、雨／みぞれ たんぼ平の予定であるが中止となった。

昨年、一昨年とあまり天候に恵まれず、今年も、最終日の帰りには、雨（宿）からみぞれ（室堂）へと変わった、多分、その後は雪になったでしょう。2000 円を超える現地、5月末とはいえ、23日は冬に逆戻りでした。

今年の参加者は、40代から70代（40代3、50代2、60代3、70代2、計10名）まで幅広い世代が集まった。相当、差がつくのではないかという気もあったが、まあまあ、助け合い、それぞれの長所を生かし、久しぶりに長次郎谷の出合まで滑りこむことができた。

来年は、ぜひとも3日間とも天気にも恵まれ、東一の越からたんぼ平へのコースをと

の思いをのせロープウェイで帰ってきた。参加者の皆さんには、余分な出費をすることとなりましたが、来年の天気はといわれるとわかりませんが、来年もよろしくお願いします。

（長部記）



第2回理事会報告 理事の担当

●教育技術局 局長：近藤安宏

常任：出崎福男、末広明美、佐藤知英子

理事：北川勝治、武田健一、五十嵐民夫、矢吹健、本多賜代、岡根泉二、
藤城弥栄子

●組織局 局長：石黒健

常任：三浦幸光、長谷川かよ子

理事：芦田潔、小川正夫、根本治光、吉瀬君江、佐藤正広、鈴木正之、
松本幸男、赤羽幸治

●総務局 局長：吉田安信

常任：車田夕紀子、森田克暁、伊藤元広

理事：鮎沢剛人、井上宜、長部保雄、敷地忠、濱田琴美、広瀬陽治、
前沢清治、三隅伸一

引き続き理事ならびに常任理事の選出を迫及する

理事の出ていないクラブ 板橋、Oh!シーハイル、すとつくいらず、チーム絆、つらら、
つるりん、はるひの、ゆきすぎ、ストック西蒲田、ぶるるん、
ブリザード

各部・委員会の責任者

●技術部：出崎福男

●競技スキー委員会：森田克暁

●山スキー委員会：吉田安信

●ウィークデースキー委員会：三浦幸光

●ジュニア委員会：石黒健

*スノーボード部は常任理事会で担当

全国部員：任期が2年

●技術部 出崎福男

●競技部 末広明美

●山スキー部 長部保雄

●スノーボード部 鈴木明さんにこれから交渉

広報局の新設

●通信発行 編集体制：各部局から担当者を選出してもらい編集会議を行い原稿を集める。

組版は従来通りだが、なるべく早いうちに担当者を配置する。(長谷川、市川 etc)

各クラブの通信担当者のメールアドレス調査し送信。

●ホームページ管理 通信ならびに各種宣伝物、ビラの掲載等、各部局のビラを集中管理、
ホームページ全体のリニューアル、各クラブのスケジュール等の調査・掲載

8月・9月のカレンダー

8月	東京スキー協	全国スキー協	9月	東京スキー協	全国スキー協
1日(日)			1日(水)		
2日(月)			2日(木)	常任理事会	
3日(火)			3日(金)		
4日(水)			4日(土)		
5日(木)			5日(日)	スキーセミナー	
6日(金)			6日(月)		
7日(土)			7日(火)		
8日(日)			8日(水)		
9日(月)		全国常任	9日(木)		
10日(火)			10日(金)		
11日(水)			11日(土)		
12日(木)			12日(日)		
13日(金)			13日(月)		
14日(土)			14日(火)		
15日(日)			15日(水)		
16日(火)			16日(木)		
17日(水)			17日(金)		
18日(木)			18日(土)		
19日(金)			19日(日)		
20日(土)			20日(月)		
21日(日)			21日(火)		
22日(月)			22日(水)		
23日(火)			23日(木)		
24日(水)			24日(金)		
25日(木)			25日(土)	ブランスキー	
26日(金)			26日(日)	〃	
27日(土)			27日(月)		
28日(日)			28日(火)		
29日(月)	通信発行		29日(水)		
30日(火)			30日(木)	〃	
31日(水)					